

2008 年度

科目名 東洋史概説 A	対象学科・学年 文学部文財 2 回生	担当者 小田木 治太郎
授業テーマ 中国先史～古代の歴史と文化 I		
授業の概要と目標 中国は、世界四大文明の一つである中国文明の成立にはじまり、常に高度な文化を保ち続け、東アジア地域全体に強い影響力を誇ってきました。日本の歴史も中国の存在をぬきにしては語れません。本授業では、環境論や資料論などの基礎的な問題をまず検討し、その上で西周時代までの歴史をたどります。特に、近年増加がめざましい考古学資料を積極的に取り入れて、対象とする各時代の立体的把握を目指します。折に触れ、関連画像を見る時間を設けます。		
評価方法 学期末試験 80%、出席・受講状況 20%		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 中国の風土 広い中国とその周辺 2. 中国史概観 中国百万年？の歴史 3. 資料論 膨大な歴史書と考古学資料 4. 旧石器時代 中国における最初の人類痕跡 5. 新石器時代 農耕社会の成立 6. 新石器時代 農耕社会の発展と変容 7. 伝説と初期王朝 甲骨文発見による歴史の書き換え 8. 殷代あるいは夏代 二里头・二里岡文化 9. 殷代 殷墟文化 10. 殷代 殷王朝の周辺 11. 西周 殷周革命＝周王朝の成立 12. 西周 周の封建制とその変質 13. 西周 西周時代の遺跡と遺物 14. 前期のまとめ 15. 試験		